

# 市民協働事業 相互評価シート

## 1 市民協働事業の概要

事業名称	ほ도가や市民活動センター アワーズ																										
事業の実施者	団体等	特定非営利活動法人 横浜市民アクト																									
	行政	横浜市																									
事業の目的	市民活動及び生涯学習の支援をとおして、市民の理解と参画のもとに、市民一人ひとりが豊かに暮らせる地域社会の実現を目指す。																										
事業の内容	(1) 活動場所の提供 (2) 情報の提供 (3) 相談・コーディネート (4) 講習会・研修会などの自主事業 (5) その他市民活動及び生涯学習推進に必要な支援																										
役割及び責任 分担等	協働契約書第8条の規定に基づき、次に掲げる役割を分担し、その役割についてそれぞれの責任で事業を行う。																										
	事業項目	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業項目</th> <th>受託者の役割</th> <th>委託者の役割</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8">施設の運営全般に関わること</td> <td>1 市民公益活動等のネットワーク化</td> <td>1 市民公益活動等のネットワーク化についての調整及び協力</td> </tr> <tr> <td>2 市民公益活動に関する相談対応</td> <td>2 市民公益活動に関する相談対応についての調整及び協力</td> </tr> <tr> <td>3 市民公益活動に関する情報提供・発信・収集</td> <td>3 市民公益活動に関する情報提供・発信・収集についての調整及び協力</td> </tr> <tr> <td>4 市民公益活動等に関する活動の場の提供</td> <td>4 市民公益活動等に関する活動の場の提供についての調整及び協力</td> </tr> <tr> <td>5 地域人材ボランティアバンク事業の実施</td> <td>5 地域人材ボランティアバンク事業の実施についての調整及び協力</td> </tr> <tr> <td>6 区民利用施設等との連携による活動支援</td> <td>6 区民利用施設等との連携による活動支援についての調整及び協力</td> </tr> <tr> <td>7 自主企画事業の企画・実施</td> <td>7 自主企画事業の企画・実施についての調整及び協力</td> </tr> <tr> <td>8 その他市民公益活動に関する企画・実施、活動支援</td> <td>8 その他市民公益活動に関する企画・実施、活動支援についての調整及び協力</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">施設の管理全般に関すること</td> <td>1 設備の管理、保守・点検</td> <td>1 設備の提供</td> </tr> <tr> <td>2 軽微な維持修繕</td> <td>2 設備管理に関する調整及</td> </tr> </tbody> </table>	事業項目	受託者の役割	委託者の役割	施設の運営全般に関わること	1 市民公益活動等のネットワーク化	1 市民公益活動等のネットワーク化についての調整及び協力	2 市民公益活動に関する相談対応	2 市民公益活動に関する相談対応についての調整及び協力	3 市民公益活動に関する情報提供・発信・収集	3 市民公益活動に関する情報提供・発信・収集についての調整及び協力	4 市民公益活動等に関する活動の場の提供	4 市民公益活動等に関する活動の場の提供についての調整及び協力	5 地域人材ボランティアバンク事業の実施	5 地域人材ボランティアバンク事業の実施についての調整及び協力	6 区民利用施設等との連携による活動支援	6 区民利用施設等との連携による活動支援についての調整及び協力	7 自主企画事業の企画・実施	7 自主企画事業の企画・実施についての調整及び協力	8 その他市民公益活動に関する企画・実施、活動支援	8 その他市民公益活動に関する企画・実施、活動支援についての調整及び協力	施設の管理全般に関すること	1 設備の管理、保守・点検	1 設備の提供	2 軽微な維持修繕	2 設備管理に関する調整及
	事業項目	受託者の役割	委託者の役割																								
施設の運営全般に関わること	1 市民公益活動等のネットワーク化	1 市民公益活動等のネットワーク化についての調整及び協力																									
	2 市民公益活動に関する相談対応	2 市民公益活動に関する相談対応についての調整及び協力																									
	3 市民公益活動に関する情報提供・発信・収集	3 市民公益活動に関する情報提供・発信・収集についての調整及び協力																									
	4 市民公益活動等に関する活動の場の提供	4 市民公益活動等に関する活動の場の提供についての調整及び協力																									
	5 地域人材ボランティアバンク事業の実施	5 地域人材ボランティアバンク事業の実施についての調整及び協力																									
	6 区民利用施設等との連携による活動支援	6 区民利用施設等との連携による活動支援についての調整及び協力																									
	7 自主企画事業の企画・実施	7 自主企画事業の企画・実施についての調整及び協力																									
	8 その他市民公益活動に関する企画・実施、活動支援	8 その他市民公益活動に関する企画・実施、活動支援についての調整及び協力																									
施設の管理全般に関すること	1 設備の管理、保守・点検	1 設備の提供																									
	2 軽微な維持修繕	2 設備管理に関する調整及																									

			び協力
	事務改善に関する取組に関すること	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 利用者ニーズの把握とサービス向上</li> <li>2 運営事業団体として必要になる事業の検証</li> <li>3 「ほ도가や市民活動センター協働運営会議」との調整・協議</li> <li>4 「ほ도가や市民活動センター評議会」の運営・開催</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 利用者ニーズの把握とサービス向上についての調整及び協力</li> <li>2 横浜市として必要になる事業の検証</li> <li>3 「ほ도가や市民活動センター評議会」の運営・開催についての調整・協力</li> </ol>
	その他市民活動センターの管理運営等にあたり、必要となる事務事業に関すること	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 利用統計に関する業務</li> <li>2 管理運営事業団体として必要になる情報公開及び説明責任に関する業務</li> <li>3 支援センターの管理運営及び市民力の向上等に関する調査研究</li> <li>4 その他区が行う市民公益活動等に関する施設・事業等への参画</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 利用統計についての調整及び協力</li> <li>2 横浜市として必要となる情報公開及び説明責任に関する業務</li> <li>3 支援センターの管理運営及び市民力の向上等に関する調査研究についての調整及び協力</li> <li>4 横浜市役所内部の連絡調整</li> </ol>
実施期間	令和3年4月1日から令和4年3月31日まで		

記入日	令和 4 年 9 月 1 日
記入者	<p>[団体等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・団体等名： 特定非営利活動法人 横浜市民アクト</li> <li>・記入責任者 氏名： 北川 有紀 連絡先： 045-334-6306</li> </ul>
	<p>[行政]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部署名： 保土ヶ谷区地域振興課</li> <li>・記入責任者 氏名： 金子 強 連絡先： 045-334-6307</li> </ul>

### 3 事業評価相互検証シート

事業実施プロセス相互チェックシートでおこなった結果をもとに、相互で本検証シートを作成します。

<b>事業の計画づくり</b> (協働して事業計画をつくるにあたり、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)
<b>【共有できたことや認識に違いがあったこと】</b> ・社会情勢が読めない中で、担当者間では小まめなやりとりをし、計画変更が必要な際も柔軟な対応ができた。
<b>【今後改善が必要と思われること】</b> ・次年度以降、様々な活動が再開していくことで課題もみえてくると思われるので、今後の目標を共有し、解決すべき活動課題に共に向き合う機会を再び醸成していく必要を感じる。 ・長寿化対象外施設であるため、施設管理における修繕計画が必要と考える。
<b>事業実施</b> (協働して事業を実施した結果、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)
<b>【共有できたことや認識に違いがあったこと】</b> ・「ほどがや防災塾」では、総務課防災担当のみなさんに企画段階から関わっていただき、企画する学生へのアドバイスや動画を評価してくださり、学生の成長を共に見守ることができた。 ・「ほどがやサンプラプロジェクト」運営会議をオンラインで行うこともあったが、メンバー間の関係性が薄くなり、一緒に何かをつくる機運が下がってしまったので、次年度は対面が可能な環境下では対面で関係性を深める機会を増やしたい。
<b>【今後改善が必要と思われること】</b> ・区役所、アワーズともに職員の交替が考えられるため、組織として情報共有を行うことで事業が停滞しないような体制づくりを行う。 ・はぐくみプロジェクトについては、年間事業で関係者も多いため、議論を重ねて講座対象者の絞り込みや、区役所とアワーズの役割分担の明確にしていく必要がある。
<b>事業の成果</b> (協働して事業を実施した結果、当初期待された事業効果がどのような成果となりましたか。)
・前年度の「ほどがやサンプラプロジェクト」の振り返りから、毎月2回の定例おそうじ活動を始めた。また、12月のイベント時期には帷子小学校の総合授業と連携したおそうじ活動、学生企画の際には資源循環担当のバックアップにより、運営者が子ども、若者でも安全に事業ができた。加えて、ほどがやサンプラを元に、緑区では「みどりサンプラプロジェクト」が発足するなど、以前から積み重ねてきた連携の芽が出てきたと感じている。
<b>自由記入欄</b>
・コロナ禍でも試行錯誤して「定例おそうじ」や「オンライン活動はじめ隊」事業を実施したことで、参加者同士の関係性が目に見える距離で深まっていることが分かった。従来の大きな行事だけではなく、今後は日常の活動の中で地域の関係性を育てることが重要。 ・社会変化に応じ、今後の地域活動をつくるためには、区を越えた協力や、広域のネットワークをもち、足元の活動に磨きがかかるような、施設間、職員間、コーディネーター間の相互研鑽の場が必要。